



「全世界に出て行って…」

「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ」。
(マルコによる福音書 16 章 15 節)

七月四日から六日までウラジオストクの河瀬愛子宣教師訪問の旅に行ってきました。同行者は通訳の李相訓師(広島第一教会)と妻の久美子牧師です。実質的には一日半という短い滞在でしたが、受け入れ教会の長老インマヌエル教会のティモフェイ師はじめ、教会の兄姉が晩餐会を開いて下さり暖かい歓迎を受けました。国境を越えた主にある交わりの素晴らしさを肌で感じました。天国はきっとこのような交わりが溢れている所だと思います。

今回、河瀬宣教師が携わっているこども集会二か所で奉仕する予定でしたが、残念ながら一か所のみとなりました。六月から八月は、こどもたちも夏休みなので致し方ないことです。でもその一か所、ヤースノエのこども集会には、三十名の男女のこどもたち(三歳児から中学三年生くらいまで)が集まって、私の聖書のお話を河瀬宣教師の通訳で聞き、妻の久美子牧師の賛美フラを真剣に見ていました。大きいお兄さんやお姉さんが小さい子たちの面倒を見て、村のこどもたちみんなが兄弟姉妹のようでした。ヤースノエは牧畜業の貧しい村です。母子家庭のこどもも多く、親は朝から夜まで仕事で、日中こどもたちはほったらかしです。ですからこども集会の働きは地元の方々にも受け入れられています。集会所の管理人のご婦人はティモフェイ師と二十年来の知り合いで、「あんたたちはこどもたちに良いことをしてくれる」と熱い信頼を寄せています。その信頼関係の上に、河瀬宣教師のこども伝道も成り立っています。

こども集会の場所はヤースノエの他に、ノボルネジ、教会のあるアルチョムの三か所です。全部で七十人から八十人の子どもたちが毎週集まっています。ティモフェイ師によると、1992年(ソ連崩壊後)、ウラジオストクに韓国系ロシア人伝道のために派遣されて最初にしたことは「こども伝道」だったそうです。共産圏のロシアでは大人への伝道はできなかったのです(今でも状況は変わりません。昨年、伝道禁止法が成立し、政府認可のない宣教団体は国外退去になりました)。ティモフェイ師は、河瀬宣教師がこども伝道に使命を持ってロシアに来られたことをとても喜ばれ、全面的に支援して下さいます。こども伝道は、昔も今もロシア宣教の土台です。今日、長老インマヌエル教会の奉仕を担っているのは、かつてこども集会に参加していた青年たちです。今、河瀬宣教師が福音を伝えているこどもたちが、やがて将来、ロシアの宣教を担ってくれる日が来ることを私たちは共に夢見て、祈り支えていきましょう。

日本ホーリネス教団 宣教局長 加藤 望(文責)
宣教局(国外担当)主事 中道善次



ヤースノエ村のこども集会



長老インマヌエル教会歓迎会

～News～

河瀬愛子宣教師は、今3年の宗教者ビザを持っていますが、5年のビザ取得を目指すため、更なるロシア語の学びが必要です。お祈りください。

◎安定した働きと、財政確保のために、お1人「毎月100円」をお献げくださいますようお願いしています。ぜひ、ご協力ください。(教団の月定献金袋をお用の場合、国外宣教の欄に金額を書いて、月定献金と一緒にお献げください。教会でまとめてご送金くださっています。)

◎また「宣教師を支える会」を通じて、より身近に国外宣教に加わることができます。

◆ロシア宣教：ウラジオストク現地教会でのロシア人への宣教

河瀬愛子宣教師を支える会 振替口座：00100-9-264850
ゆうちょ口座 記号10530 番号26778771

事務局：成田市松崎 1924-3 成田教会 内
電話：0476-28-3944

◎振替用紙にて、ご献金頂けます。

[国外宣教献金]

郵便振替口座:00190-6-26967
口座名:日本ホーリネス教団本部
通信欄に「国外宣教献金」とお書きください。

